



PATHO News

自治医科大学 病理診断部

<http://www.iichi.ac.jp/pathology/>



No.11
2011. 4. 20

東日本大震災において被災された方々に
心よりお見舞い申し上げます。 病理診断部スタッフ一同

新年度のごあいさつ

昨年度末は、震災によって歓送会も開かれぬままの特殊な年になりましたが、3月には、弘中貢准教授が退職され臨床家へ再転身、櫻井達夫副技師長、久保野幸子主任臨床検査技師はそろって定年退職と永年勤続を表彰されました。統合病理で研究していた齋藤心先生は学位(博士)を取得し外科に戻りました。

4月には、新たに鈴木司病院助教、今田浩生臨床助教、松本祐弥臨床検査技師を迎えました。また、大学院生の大澤英之先生(乳腺外科)、宇井崇先生(消化器外科)、後期研修医の岩津加奈先生(腎臓内科)も、病理診断部で定期的にそれぞれの専門分野の病理を研修中です。一方、定年を迎えた櫻井副技師長、久保野主任も、4月からもまだまだ当部で活躍してもらっています。

今年度は、病理診断部連絡協議会(仮称)の結成や臨床病理カンファレンスの推進なども行い、病理診断部が病院の中央診療部門としての役割を一層果たせるよう、一丸となって努力していく予定です。引き続き、病理診断業務への変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

病理診断部 部長 福嶋敬宜

新任教員・職員紹介

鈴木 司 (すずき つかさ) ; 病院助教



■略歴

2001年	昭和大学医学部卒業
同	昭和大学藤が丘病院 外科・泌尿器科(研修医)
2004年	新松戸中央総合病院 内科医員(腎・糖尿病)
2007年	獨協医科大学越谷病院 病理部・助教
2011年	現職
	大学院医学研究科(博士課程、社会人大学院)入学

■はじめまして。4月1日に病理診断部・病院助教として赴任し、また社会人大学院生制度により大学院にも入学しました。早速こちらで仕事をスタートしましたが、比較的小規模の環境で働いてきた自分には、病理、臨床の先生方や大学院生など比較的多くの方々と一緒に取り組んでいけることが新鮮であり大変勉強にもなっております。病理医は全国的に不足していますが、今後、当病理診断部で多くのことを吸収しながら自分も成長しつつ、後進や学生教育に携われることは大変な喜びです。まずは、認定病理専門医資格の取得と学位取得を目指しつつ、信頼される病理医になれるように日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

検体受付および剖検受付時間

8:30 ~ 17:15 (内線2257)

注) 土・日・祝祭日は剖検のみ受付(内線2257 or PHS18218)

今田 浩生 (いまだ ひろき) ; 後期研修医(臨床助教)

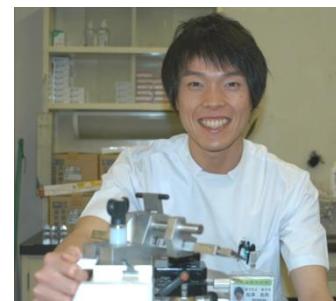


■略歴

2009年	広島大学医学部卒業
同	福岡新水巻病院 初期研修医
2011年	現職

■はじめまして。福岡→広島→福岡、そして今回縁もゆかりもない栃木で病理の勉強をさせていただくことになりました。着任1ヶ月前に大地震が起こり、正直どうしようかと思いましたが、来て良かった、来てくれて良かったと思えるようがんばりたいと思います。

松本 祐弥 (まつもと ゆうや) ; 臨床検査技師



■略歴

2007年	埼玉県立越谷北高校卒業
同	埼玉県立大学・保健医療福祉学部・健康開発学科・検査技術科学専攻 入学
2010年	自治医科大学附属さいたま医療センターにて3ヶ月間病院実習
2011年	埼玉県立大学 卒業
同	現職

■4月1日付で、臨床検査技師として病理診断部に勤務させていただいている松本です。高校時代からあだ名は「マツモ」と呼ば

れています。出身は千葉県野田市で、最近人生初の一人暮らしを始めました。病理学にはとても興味があり、大学の卒業研究では、拡張型心筋症モデルを用いて、形態学研究を行いました。たくさんご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、一生懸命がんばりますので、よろしくお願ひいたします。

H22年度 業務報告

1. 組織診

件数	14,217件
ブロック数	67,173個
HE染色枚数	136,114枚
迅速件数	710件
迅速個数	1125個
センチネルリンパ節	151件
センチネルリンパ節	358個

3. 免疫

免疫組織化学総数	1,292件
同染色枚数	8,363枚
ER/PR検索	302件
FISH検査	27件
EGFR検索	31件

5. 蛍光

件数	288件
うち大宮	103件

2. 細胞診

件数	19,011件
検体数	25,970個
迅速件数	155件
総染色枚数	41,415枚

4. 電顕

件数	288件
(内、さいたま医療センター)	103件)

6. 剖検

件数	51件
(内、院外剖検)	1件)

7. PCR

件数	44件
----	-----

■平成22年における生検診断は14,217件、細胞診は19,011件、術中迅速診断は710件、剖検診断は51件でした。

■組織診、細胞診、免疫組織化学、電顕は増加傾向にあります。

ニュースレター PATHO News 病理診断部 No.11 2011. 4. 20

発行 : 福嶋敬宜(ふくしまのりよし)

編集 : TEAM だったた

飛田野清美(ひだのきよみ)

柳田美樹(やなぎたみき)

田村聖月(たむらみづき)